

「緑の募金キャンペーン2019秋」の実施について

公益社団法人熊本県緑化推進委員会

秋の募金キャンペーンを下記のとおり実施します。
皆様からの募金、問い合わせをお待ちしております。

記

- 1 キャンペーン名 「緑の募金キャンペーン2018秋」
- 2 スローガン 「緑の募金で進めよう SDGs」
- 3 実施期間 令和元年9月1日～10月31日
- 4 実施主体 (公社)熊本県緑化推進委員会
- 5 後援 熊本県
- 6 キャンペーンの内容

(1)「緑の羽根の着用」

「緑の募金」のシンボルとして「緑の羽根」の着用を緑の募金協力者、緑の募金運動関係者等に呼びかけて、地球温暖化防止に向けた緑化運動気運の醸成を図る。

(2)企業募金の推進

秋のキャンペーンの重点取組みとして「企業募金」を位置づけ、地域及び市町村協議会に新規の企業募金の推進を呼びかけ、企業・団体に対し緑の募金企業募金への協力要請を行う。

＜「緑の募金キャンペーン2019秋」企業募金推進方針＞ ⇒ [次ページ](#)

(3)緑の募金箱の設置

キャンペーン期間中に行われる収穫祭等のイベントの際、会場に募金箱を設置し、緑の募金への協力要請とともに地球温暖化防止への関心の喚起等を行う。

「緑の募金キャンペーン2019秋」企業募金推進の方針

公益社団法人熊本県緑化推進委員会

1 基本方針

「緑の募金キャンペーン2019秋」における企業募金の推進は、平成31(令和元)年「緑の募金運動」の実施について に基づき行う募金活動とする。

企業募金の展開にあたっては、地域みどり推進協議会及び市町村みどり推進協議会の連携のもと、春の募金運動で募金の依頼をしなかった企業や依頼はしたものの募金いただけなかった企業に対し、企業訪問あるいはダイレクトメールの発送等の方法により行い、企業募金のメリットである税制上の特別措置や、社会貢献企業として公表(ホームページや新聞広告)していることなどを説明したうえで理解いただくなどにより、企業募金の運動を展開する。

2 募金の実施期間

令和元年9月1日から10月31日までとする。

3 募金の実施区域 熊本県内一円とする。

4 募金運動の実施主体

緑の募金の実施主体は公益社団法人熊本県緑化推進委員会とし、地域みどり推進協議会及び市町村みどり推進協議会等の協力のもと密接な連携を図り、募金運動の円滑かつ効果的で適切な推進を行う。

5 企業募金実施の報告

地域みどり推進協議会及び市町村みどり推進協議会は、秋期「緑の募金」企業募金の実施状況を以下により報告するものとする。

企業募金活動実施状況報告(H30秋期)

	〇〇地域協議会	〇〇市	〇〇町	〇〇町	計
企業募金活動実施の有無					
依頼企業数(訪問)					
〃 (文書)					
募金いただいた企業数					
募金総額 (円)					

「緑の募金キャンペーン2019秋」のスローガン 「緑の募金 で進めよう SDGs」の “ SDGs ” について

持続可能な開発目標(SDGs)とは

SDGs(SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS)

持続可能な開発目標(SDGs)とは、2001年に策定された[ミレニアム開発目標\(MDGs\)](#)の後継として、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの国際目標です。持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さない(leave no one behind)ことを誓っています。SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル(普遍的)なものであり、日本としても積極的に取り組んでいます([日本の取組\(PDF\)](#))。

外務省のホームページから

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS × 国連森林戦略計画2017-2030

世界を変えるための17の目標

SDGsの目標達成に不可欠な、持続可能な森林経営の6つの目標

世界目標 1

持続的な森林経営を通じて、世界の森林を拡大・劣化防止・気候変動に対処



世界目標 2

森林を基盤とする経済的社会的環境的便益を強化



世界目標 3

森林から得られた林産物の比率を増加させる



世界目標 4

持続的な森林経営のため、資金・技術・パートナーシップを強化



世界目標 5

持続的な森林経営のためのガバナンス促進、2030アジェンダへの貢献を強化



世界目標 6

森林の課題に対し、ステークホルダー間等で協力、連携等を強化する



⇒持続的な森林経営を通じて、17目標のうち14目標の達成に貢献します



森林からのSDGs貢献のための3つの視点



森林からのSDGs貢献には、「自然資本の持続的な管理」と「社会の様々な分野における課題解決」、そして「公正・公平な連携・協働」の3つの視点に立った取り組みが重要です。

国土緑化推進機構が考える「森林SDGs」

世界有数の森林大国であり、木の文化を培ってきた日本。森づくりから木の利用まで「森づくりの循環」と一体となった、「経済」「社会」「環境」の持続的発展を促進します



「緑の募金」、「緑の募金事業」の実施に当たっては、SDGsのどの持続可能な開発目標に向けた施策であるかを明確にし、施策の目標を明確にし、併せて発信していくことにより、SDGsの取組みを推進する。